

～第3学年～

進路だより

令和2年6月1日（月）
足立区立六月中学校 進路指導部
第1号

はじめに

3年生になり、臨時休業のため登校することができないまま、2か月が過ぎてしまいました。先生たちは、ようやく始まる学校生活で、みんなの最上級生としての自覚がどのように芽生えてくるか、授業や課題に対してどれだけ意欲的に取り組む姿勢を見ることができるかを期待しているところです。

非常事態だとはいえ、みんなにとってこの1年が中学校の最上級生であり、9年間の義務教育の最終学年という大切な1年であることは変わりません。学習面でも生活面でも、新たな気持ちで悔いのないように最後の学年を過ごしましょう。

進路選択に向けて～今、君たちに考えて欲しいこと～

- 1 自分はこれからどんな生き方をしていくのか、将来は何を目指していくのか、それをしっかり見通したうえで、中学校卒業後の進路を考えよう。
- 2 進路を切り拓き、新たな場所でしっかり歩いていくためにも、自分の学力を伸ばしていこう。先のことであせるのではなく、いつでも基礎・基本に戻ろう。
- 3 節度ある生活のリズムを作る中で、学習の計画もしっかり立て、それをやり抜こうとする意志、実行する力を鍛えていこう。
- 4 大変なのは自分だけではありません。同じように自分の力でハードルを越えようとしている仲間や、みんなを支えてくれる周りの人たちのことも大切にしよう。

学校説明会・体験入学の案内が届きはじめます

3年生や保護者にとって、志望校の選択に失敗しないために、学力レベルや進学実績といった情報だけでなく、上級学校の様々な情報をどのように集めていったらよいかは気になることです。上級学校の様子を知るには、直接学校へ行き、学校の様子や在籍している生徒などの普段の生活を実際に確認することです。学力や噂だけで進学先を決定するのは危険です。説明会・体験入学などで得た情報は、最後の進路決定の時の選択理由に影響を与えることになります。その案内が少しずつですが、学校に届いています。それらは廊下の進路掲示板や各クラスのファイルなどに順次入れていく予定です。ぜひ有効に活用し、自分の進路選択の一助にしてください。特に、新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年通り学校説明会等が開かれなことも予想されます。学校からも情報発信をしていきますので、志望校の情報は常にチェックしておくようにしましょう。



受験までの流れと目標

この1年を大きく分けると、2ヶ月間の臨時休業期間がありましたが、夏休みまでが『序盤』です。この時期には、1・2年のときの復習を中心とした基礎固めをしておきたいところです。

夏休み明けからが『中盤』です。この時期からは、過去問などの実戦問題にチャレンジしていきましょう。実力を試すことができ、この時期ならまだ難問にぶつかっても落ち着いて対処できるからです。

そして冬休み明けから本番までが『終盤』です。この時期にはそれまでの積み重ねがそのまま得点に反映してきます。

このように、時期ごとに勉強の内容や質・量に違いがあります。今は序盤の時期ですが、もうすでに半分は過ぎてしまっていることを意識して、毎日の家庭学習の中でしっかりと基礎固めをしていってください。まずは、具体的な目標をしっかりと立ててみましょう。例えば「苦手な数学は毎日ドリルをやる」「ゲームやテレビは1日1時間」「志望校は〇〇高校!!」といった感じです。そして目標を大きく書いて机の前に貼るとよいでしょう。さあ、早速実践です！



《ポイント》

時 期	この時期にすべきこと	補 足
序盤（夏休み前まで）	1・2年生の範囲を確認しよう！	入試の6～7割は1・2年生の学習範囲です。この時期の復習が大切です。
中盤（冬休み前まで）	説明会に参加しよう！	9月以降には入試要項が正式に発表されます。いよいよ志望校の決定時期です。
終盤（本番まで）	入試本番に向けて心身ともに整えよう！	あせらないことが大切。そのためにも1・2学期の頑張りが大切です。

高校の先生方が六月中に来校します

これからの時期は、毎日のように、資料やポスターなどを持って上級学校の先生方が来校します。入口から職員室にいらっしゃいますが、そのときに2階の廊下でふざけている、大声を出している、身だしなみが整っていない3年生の姿を見たらどのように思われるでしょうか。六月中生のイメージが低下する可能性が考えられます。

休み時間中の過ごし方や服装に留意して、来校者にはぜひ元気な声で挨拶ができるようにしましょう。

